

令和8年2月9日

世田谷区立駒繫小学校

校長 佐々木 克二 様

世田谷区立駒繫小学校

学校関係者評価委員会

学校関係者評価委員会報告書

1 調査の実施方法

(1) アンケートの作成・配布（令和7年11月中旬）

＜対象＞・児童（全学年） ・保護者（全学年・児童数） ・地域（町会/その他）

(2) アンケート実施（電子回答）回収（締切り：令和7年12月8日）

(3) 校内においてデータ集計作業（令和7年12月19日完了）

(4) 職員会議で、集計結果に関する数値傾向からの課題を共有した。（令和7年12月25日）

(5) 学校関係者評価委員会（令和8年1月16日）

令和7年度学校関係者評価アンケート結果を校長より報告。集計結果の概要を確認し、検討事項等について共通理解を図った。

(6) 学校関係者評価委員会（令和8年1月下旬）

各委員より、集計結果の数値傾向を踏まえ意見を出し合い、成果及び課題を検討した。

(7) 学校関係者評価委員会（令和8年2月4日）

委員会にて指摘のあった点を取りまとめ、修正・追加・削除を行い、報告書の原案を作成した。

(8) 学校関係者評価委員会（令和8年2月9日）

学校運営委員会にて、学校関係者評価概要説明。各委員と報告書の最終的な確認を行った。

2 アンケート結果の分析

- 保護者回収率 77.5% (393名)
 - 学年回収率 第1学年：88%、第2学年：74%、第3学年：92%、第4学年：80%、第5学年：62%、第6学年：69%
- 地域回収率 79% (15名)

| 学校関係者評価委員会からの指摘項目 (改善された点も含む) |
|--|
| 昨年度より全学年の児童が回答することになっており、児童の回答が全校児童によるものであると同時に、各学級の担任が自身の学級の評価を受けることが可能となった。各学級の担任は、1年間取り組んできたことの成果と課題が明確に示されることで次年度への目標設定へとつなげていける。また、昨年度と同様の形式であることから、経年での比較も可能となり、このアンケートがより有意義なものになっている。 保護者の回答率は、学年が上がるごとに下降する傾向があるが、全体の回答率は昨年度より上昇しており、より信頼性の高い結果となっている。来年度も回答のご協力をいただきたい。 |

【令和7年度 学校の重点目標の達成について】

※ アンケート結果のパーセントは、A (とても思う) B (思う) の評価の合計を示す。

《1》重点目標に「思いやりのある やさしい子」を位置づけ、気持ちのこもったあいさつがあふれる学校づくりに取り組みます。

◎ 保護者・児童・地域のアンケートより

【児童】 すすんであいさつをしている。 94% (前年度90%)

【保護者】 私の子どもは、よくあいさつをしている。 75% (前年度73%)

【地域】 本校の子どもたちは、あいさつしている。 74% (前年度89%)

| 学校関係者評価委員会からの指摘項目 (改善された点も含む) |
|---|
| 児童の肯定的評価は 94%で高い評価を得た。保護者の評価は75%で、どちらも昨年度を上回る結果となっている。本校の重点目標であるあいさつがより定着していることが伺える。あいさつは重点目標でもあるので、今後も挨拶の取り組みを継続してほしい。 |

《2》「教員のいないところには、子供はいない。子供がいるところには、教員がいる。」を教職員の安全管理目標とします。

◎ 保護者・児童・地域のアンケートより

【児童】 安全に気を付けて生活している。 93% (前年度94%)

【保護者】 私は、子どもに安全に気を付けて生活をさせている。 98% (前年度96%)

【地域】 学校は、安心性を高めようと地域と協力している。 93% (前年度89%)

| 学校関係者評価委員会からの指摘項目 (改善された点も含む) |
|---|
| 児童、保護者、地域どの評価者も極めて高い評価であった。引き続き安全・安全な学校づくりを目指してほしい。 |

《3》「いじめ0 (ゼロ)」をめざして、いじめ未然防止・早期発見・解決に取り組みます。

◎ 保護者・児童のアンケートより

【児童】 私は、「いじめをしない させない 許さない」ができています。
93%（前年度89%）

【保護者】 私の子どもは、「いじめをしない させない 許さない」ができています。
92%（前年度91%）

| 学校関係者評価委員会からの指摘項目（改善された点も含む） |
|---|
| 「いじめ」に関する肯定的評価は児童93%（A評価68%+B評価25%）、保護者92%（A評価38%+B評価54%）とどちらも昨年度を上回る高い数値を示している。今年度も大きないじめに発展する状況はないとのことなので、引き続き適切な指導をしていただきたい。 |

《4》「こまつなぎスタンダード2025」を策定し、学習・生活指導の充実に取り組みます。

◎ 保護者・児童のアンケートより

【児童】 私は、学校のきまり（スタンダード等）を守って、行動している。
89%（前年度90%）

【保護者】 本校は、学校でのきまり（スタンダード等）について指導している。
91%（前年度71%）

| 学校関係者評価委員会からの指摘項目（改善された点も含む） |
|---|
| 「児童の行動」に関する肯定的評価は児童89%、保護者91%となり、学校のきまりなどの学校生活のルールや学習上の決め事に対する規範意識は高いと言える。「こまつなぎスタンダード」スタートから2年を経過し、保護者にも広く浸透してきている。スタンダードがあることで、教師の指導の一貫性や公平性について、常に留意していることが伺える。今後も継続した指導をしていただきたい。 |

《5》緊急時の対応体制の強化を図ります。

◎ 保護者のアンケートより

【保護者】 本校は、安全な学校づくりに努めている。（安全管理、いじめ未然防止、避難訓練、自然災害対応等）
92%（前年度84%）

学校ホームページ、すぐーる等で、保護者に適切な学校の教育情報を発信している。
95%（前年度86%）

| 学校関係者評価委員会からの指摘項目（改善された点も含む） |
|--|
| 保護者から前年度を上回る肯定的評価を受けている。昨今日本各地で大雨や地震が観測されていることから、今後も災害に対する意識は高まることが予想される。さらに保護者や地域との連携を密にして災害への備えをしてほしい。 |

《6》研究主題「授業改善×iPad “教える” から “学びとる” へ」、目指す児童像「自立的に学びとる、クリエイティブな学習者」を設定し、校内研究・研修に取り組みます。

◎ 保護者・児童のアンケートより

【児童】 課題（めあて）について、自分で考え、友達と話し合ったり、発表し合ったりする機会がある。
95%（前年度94%）

【保護者】 課題（めあて）について、子どもが考えたことを話し合ったり、発表し合ったりする機会がある。
84%（前年度81%）

【児童】 先生は、iPadを活用し、分かりやすい授業をしている。98%（前年度94%）

【保護者】 iPadを活用し、分かりやすい授業が行われている。87%（前年度92%）

| |
|------------------------------|
| 学校関係者評価委員会からの指摘項目（改善された点も含む） |
|------------------------------|

| |
|--|
| 2項目とも95%以上という児童の肯定的評価である。保護者評価も追随している。自らが学習の目標設定を行い、仲間と協働して学習に取り組む様子が想起され、タブレットを効果的に活用した、主体的で深い学びの場が設定されていることが理解できる。 |
|--|

【各アンケート項目について】

1 学習指導について

児童・保護者ともに肯定的評価が高い。特に「iPadを活用し、分かりやすい授業をしている」の肯定的評価が児童98%、保護者87%と高い数値である。映像やタブレットを活用した児童にとって楽しい学習が展開されている。なお、本項目の児童の回答は、4つ全てが88%以上の高い肯定的評価を示しており、話し合いや発表など、自分の考えを共有できる授業が充実していることが伺える。

2 生活指導について

児童はどの項目に対しても肯定的評価が89%以上と高い数値である。児童は学校のきまりを守って生活できており、「こまつなぎスタンダード」に基づいて全教職員が一貫した指導が児童にとって納得を得られるものになっていることが伺える。保護者の「本校は、学校での決まり（スタンダード等）について指導をしている」で「分からない」と回答した保護者は前年度17%に対し、今年度は7%で、肯定的評価は91%となった。本校の生活指導について、保護者にも認知されてきたことが伺える。

3 学校行事について

今年度は「創立85周年記念」と銘打っての運動会、展覧会、なわとびコンクールが行われたが、どれも感動的な行事であった。児童の「学校行事が楽しい」は肯定的評価が92%、「学校行事は、「やりとげた！」達成感がある。」は92%となり、児童が達成感を味わっている。練習等の事前準備から本番に至るまで、やる気を継続して取り組んでいて、高く評価できる。保護者の「学校行事は楽しい」「学校行事は子どもにとって達成感がある」はどちらも95%と満足度の高さが伺える。

4 キャリア教育について

児童の「自分の生き方や将来のことについて、考える授業がある。」の肯定的評価が前年度の75%に対し、今年度は86%と大きく上回った。また、保護者の「子どもの生き方や将来のことについて考える授業をしている。」の回答で「わからない」と回答した保護者は前年度の30%に対し、今年度は19%と、キャリア教育についての認知度が高まっている傾向にあるが、保護者への周知についてはより一層の情報発信を通して認知度を上げていくことが期待される。

5 先生について

児童の「先生たちは、丁寧に指導してくれる。」の肯定的評価が96%、保護者の「本校は、丁寧に指導している。」の肯定的評価は91%となり、どちらも評価が高い。保護者の評価は自身の子どもの担任を見て評価しているという側面があるにしても、学校として丁寧な指導がなされていると捉えられる。

また、児童の「先生たちに相談できる。」の肯定的評価が86%、保護者の「本校は、子どものことを相談しやすい。」の肯定的評価は86%となった。「相談できる」ということは教員との信頼関係が構築されていることを示している。ただし、否定的評価が児童に10%、保護者に11%いることにも目を向け、相談しにくいと感じている児童や保護者が一定数いることを忘れず、引き続き丁寧に対応していくことを期待する。

6 全般について

学校生活について、児童の「学校生活は、楽しい。」の肯定的評価が92%に対して、「学校が好き。」の肯定的評価は87%であった。「学校が楽しい」から、「学校が好き」な訳ではなく、「学校が好き」の否定的評価が11%という結果にも目を向ける必要がある。

保護者の「学校生活は子どもにとって楽しい。」の肯定的評価は91%、「本校の教育活動に満足している。」の肯定的評価は90%と、どちらも前年度を上回る結果となっており、保護者からも高い評価を得られている。

7 学校からの情報提供について

保護者の「学校ホームページ、すぐー等で、保護者に適切な学校の教育情報を発信している。」の肯定的評価は95%と、前年度の86%を大きく上回っている。また、地域の「学校からのお知らせ（学校だより、学校行事、学校ホームページ）により、学校の様子が分かる。」の肯定的評価は100%で、地域からの肯定的評価が高い。肯定的評価が高いのは、学校だよりやすぐー、ホームページ等で学校からの情報が適切に発信されている結果の表れである。

8 学校運営について

保護者の「本校は、保護者に学校の重点目標を伝えている。」の肯定的評価は89%（前年度の79%）、「校長をはじめ教職員は、協力して教育活動に取り組んでいる」の肯定的評価は91%（前年度85%）とどちらも昨年度を上回る結果となっている。管理職をはじめ、教員たちの努力が数値に表れている。今後も継続して教育活動に取り組んでいくことで保護者にもより周知され、肯定的評価は更に上がるものと思われる。

9 安全な学校づくりについて

保護者の「本校は、安全な学校づくりに努めている。（安全管理、いじめ未然防止、避難訓練、自然災害対応等）」の肯定的評価は92%であり、前年度の84%を大きく上回った。また、地域の「学校は安全性を高めようと地域と協力している。」は93%と、保護者・地域ともに肯定的評価が高い。4月当初の校長による説明がしっかりと理解され、適切な情報発信を通して高い評価が得られていると考える。今年度は避難所運営訓練に全教員が参加するなど、地域とともに安全な学校づくりに努めようとする姿勢が伺える。

3 総評

アンケートの集計結果から、重点目標項目は前年度を上回る肯定的な評価が多く、学校の状況は良好であると言える。学校と児童・保護者・地域が協力して各目標に取り組んだ結果、高い評価が得られ、駒繫小学校の教育活動への期待や信頼が高いことが考えられる。また、重点目標以外の項目に対する評価も高く、引き続き先生方の努力を維持していただきたい。

先生方はアンケート結果を活用し、成果と課題を考察して改善点を見つけ、教育活動に生かしている。この努力が学校の実績を向上させ、子どもに対する丁寧な対応につながると考える。今後も学校からの積極的な情報発信で保護者の理解が深まると、次年度のアンケートにも良い影響を与えるものと考えている。

最後に、今回の学校関係者評価アンケートにご回答いただいた保護者、地域の皆様に感謝申し上げます。次年度もより多くの回答が集まるよう、引き続きご協力をお願いいたします。

令和7年度
世田谷区立駒繫小学校
学校関係者評価委員会
委員長 齋藤 潔
委員 菅原 美知子
委員 加山 寿絵